

環境省「豊かな森の生活者クマと共存するために」パンフレット抜粋



人 身被害を防止するため、クマを人里へ寄せ付けない環境整備にどのように取り組むのか、知事の見解を伺う。

【知事答弁】

クマは、本県のレッドデータ生物報告書の絶滅危惧種として保護に努めているが、出没の際は住民の安全確保を最優先として対応している。こうした中、人里での被害を防止するためにはクマ

を人里に寄せ付けないよう、えさとなる放棄された柿などの果樹の除去や、隠れ場となる藪の刈り払いなどの環境整備の取組が重要である。加えて、令和9年度から取り組む水源環境保全・再生施策において、新たに集落周辺の里山林におけるヤブ化の解消などの取組を進める。

【要望】

本県のツキノワグマは主に丹沢山地に生息しており、その生息数は約80頭と推定され、連日のように報道される東北地方などとは状況が異なっている。計画的に里山林を整備するなど、中長期にわたる実効性のある取組とすることを求める。

ツキノワグマの人里への出沒対策について

県 教育委員会においては、クマを含む野生動物に対する学校及び登下校の安全確保について、どのように取り組んでいくのか、教育長の見解を伺う。

【教育長答弁】

県教育委員会では国の通知も踏まえ、野生動物へ

の対応について新たにマニュアルの記載例を作成し、地域の実情に応じて危機管理マニュアルを改訂するよう、各学校に通知した。

また校内に生ゴミは放置しないなど、クマを寄せ付けない環境づくりも示した。さらに山間部にある県立学校の教職員や、小中学校の関係者を対象に、クマの生態や万一遭遇した場合の対応実技などを学ぶ、緊急対応研修を実施する。

【要望】

学校のみでの対応とせず、保護者や地域を巻き込んでの取組が重要と考える。環境農政局や県警察とも連携を図りながら、子どもたちの安全確保に向けた取組とすることを求める。



ランドセルに付けられたクマよけの鈴

クマを含む野生動物に対する学校及び登下校の安全確保について

POSTCARD

2 5 2 0 1 4 3

お手数ですが
切手をお貼り
ください相模原市緑区橋本6-17-3
広木ビル1階-2小田貴久事務所
行

ご意見 ご要望	
お名前	フリガナ
ご住所	
連絡先	

お名前・ご連絡先をご記入いただくと幸いです。
※いただいた個人情報は、細心の注意を払って適正厳正に管理します。

小田貴久プロフィール

- 1982年(昭和57年)4月9日生まれ
 - 相模原協同病院生まれ、西橋本出身
 - 橋本幼稚園(長友学園)、市立橋本小学校、市立旭中学校、県立相模原高校、中央大学法学部卒
 - 大和証券株式会社に資産コンサルタントを経験後、衆議院議員・もとむら賢太郎事務所秘書
 - 2011年4月 相模原市議会議員に当選、以降3期まで連続当選
 - 2023年4月 神奈川県議会議員に初当選
- 【趣味】テニス、宝塚歌劇団などの舞台鑑賞
【家族】妻(会社員)、娘、犬(ペキニーズ)